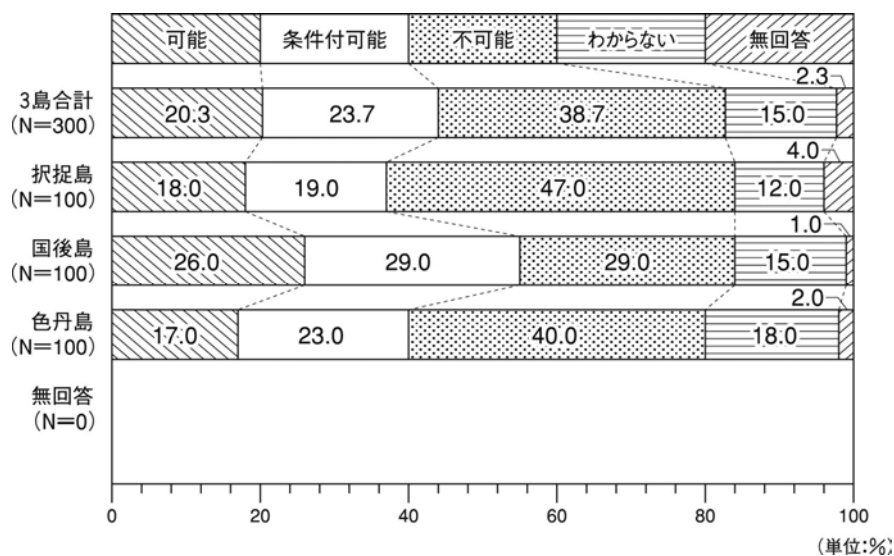
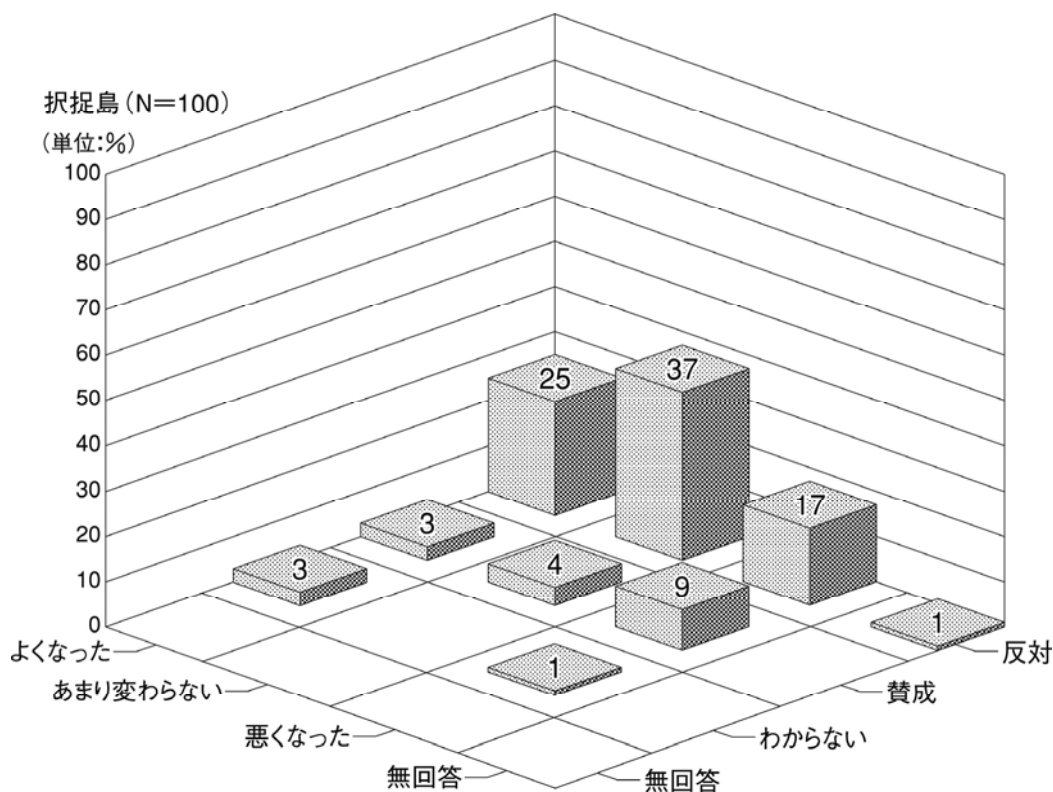
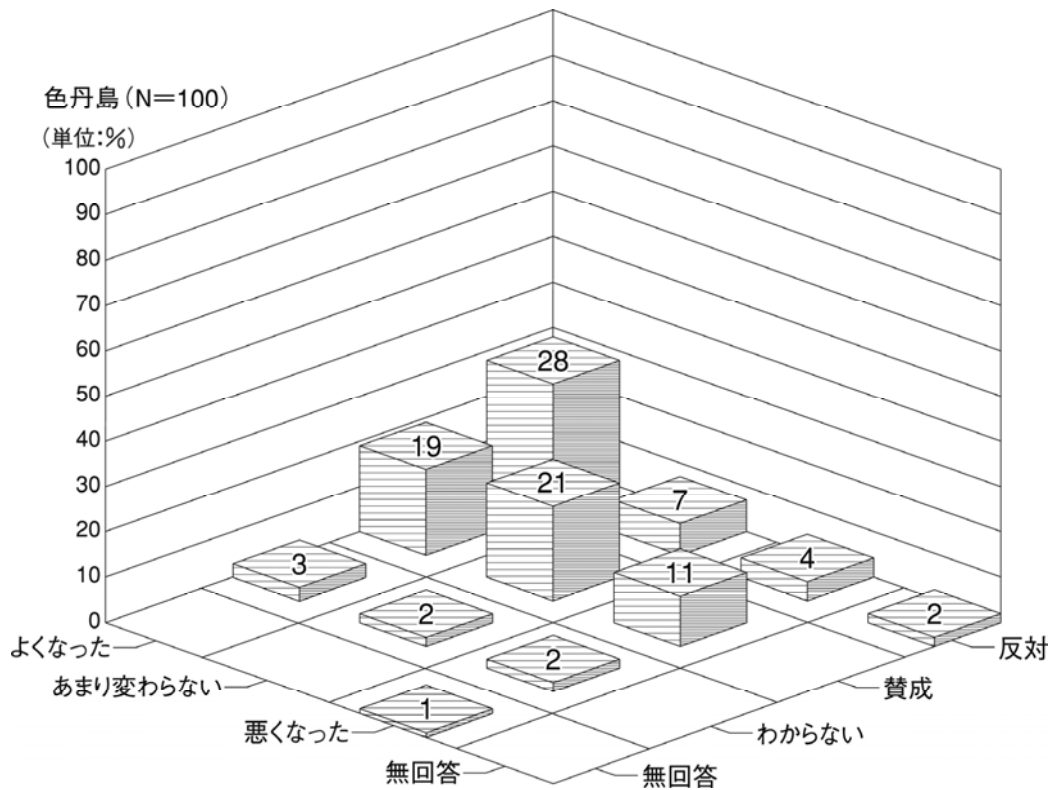
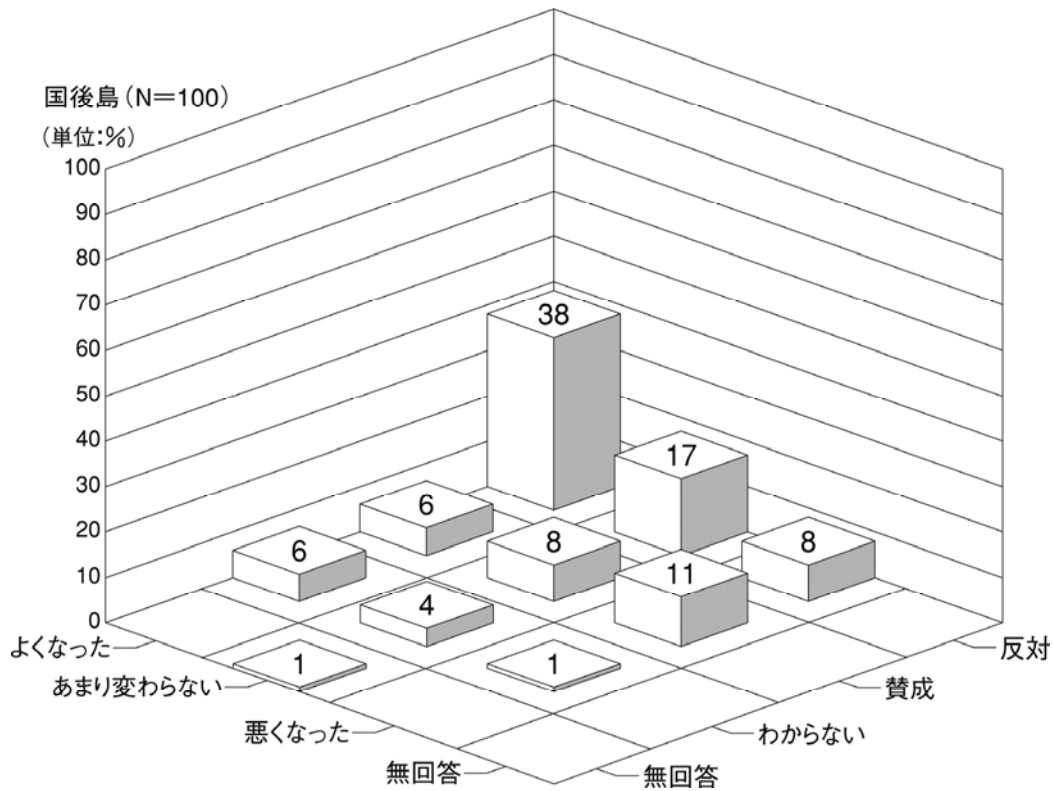


問11で日本人との共住可能性を島別に整理した。「条件付可能」もあわせて「可能」とするものが、国後では55%であるのに対して、色丹では「不可能」が40%と対照的な答えとなった。



これまでの分析を総合して三次クロスを作成してみた。第1に生活の実態と返還への賛否の連関を島別にまとめたものである。





これをみると、国後、色丹では「返還反対」のなかで「生活がよくなった」とする意見の連関が強い。要するに、生活実態の改善は、とくに国後、色丹で返還反対の立場を増やしたととらえてよからう。他方、択捉は「反対」は生活実態の変化と連関が少ない。